

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD11		
授業科目名	FB概論 I		
授業時間数	48		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション産業の仕組みや特性について解説する。 産業構造、ビジネスの特性と変遷、社会と消費者の変化等、業界全体の現状を把握し、業態別ビジネスの特性、MD基礎知識とブランド展開についての基礎的な知識を身に付ける。
到達目標	企画、生産から流通に渡るファッションビジネスの業務を遂行する際に、必要なビジネスの基礎的な知識を修得する。 ファッションビジネス用語を習得し、応用能力を発揮出来るようになる。
授業計画	<p>第1回 ファッションビジネスの概要（産業とビジネス特性、企業と生活者） ファッション産業のビジネス特性を知り、企業と消費者、生活者の関係を理解する</p> <p>第2回 ファッション商品とファッションサービス ライフスタイルを提案するファッション商品の広がりサービスを理解する</p> <p>第3～4回 繊維ファッション産業の構造、職種 繊維ファッション産業の構造とそれぞれの段階での業務に携わる職種について理解する</p> <p>第5～6回 ファッションビジネスの変遷、近年の傾向 現在のファッションビジネスの原型となった時代から今日迄の時代背景と共に、ビジネスの変遷について理解する</p> <p>第7～8回 アパレル産業について（ブランド、インポート、ライセンス含む） アパレル産業の構造と特性、ブランドビジネスについて理解する</p> <p>第9～11回 小売産業について（業態・業種、商業集積、SC） 小売産業の構造と各業態、業種の特性を理解する</p> <p>第12回 小売企業の仕組みと業務 小売企業の組織と業務、販売について理解する</p> <p>第13～14回 マーケティングの基礎知識・マーケティング上の分類 ファッション企業におけるマーケティングの特性と戦略、分類方法を理解する</p> <p>第15～16回 市場からの情報収集・分析 マーケティング活動における情報源と収集、ファッション企業における市場調査について修得する</p> <p>第17回 流通について（役割と機能、流通コスト、取引条件） 流通の役割と機能、取引に関わる条件を理解する</p> <p>第18回 アパレルメーカーと小売企業の取引実例（納品、約定、決済、価格） アパレルメーカーと小売企業の取引について、実例を基に理解する</p> <p>第19～21回 マーチャンダイジングの基礎知識 アパレルMDとリテールMDの特性と業務を理解する</p> <p>第22回 会社知識 会社組織と企業の社会的責任について理解する</p> <p>第23回 デジタルマーケティング インターネットの各種デジタル媒体の特性を知り、既存顧客、潜在顧客と繋がる手段を修得する</p> <p>第24回 注目される業界キーワード ファッション業界において注目されるキーワードを知り、事例を基にファッションビジネスの現状を理解する</p>
教科書	ファッションビジネス I（日本ファッション教育振興協会） ファッション辞典（文化出版局）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD22		
授業科目名	ソーイング		
授業時間数	120		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、アパレル生産の基礎を指導する。職業用ミシン、工業用ミシン、ロックミシン、工業用アイロン等の操作方法を身に付け、スカート、パンツ、シャツ、ジャケット等の基本的なアイテムの構成を理解し、演習を通して既製服の縫製技術を身に付ける。</p>
到達目標	<p>基本的アイテムの制作演習を通して生地選びから裁断・縫製に至るまでの技術を習得し、生地やデザインに応じた縫製技術を身に付けることで被服制作の習熟度を高める。また、縫製仕様書と工程分析を基に制作することで既製服仕立てへの理解を深める。</p>
授業計画	<p>第1回 ソーイングの基礎知識とミシンの使い方 (課題名/基礎縫い) 用具の説明、ミシンの使い方を理解し、基礎縫いの課題をとおして正確に縫う力を身に付ける</p> <p>第2回 制作の基礎(課題名/縫い代始末、ファスナー付け部分縫い) 縫い代始末、ファスナー付け部分縫いを通して衣服制作の基礎的な技術を身に付ける</p> <p>第3回 工業用パターン制作(課題名/スカート工業用パターン) スカートの構成を理解し、その縫製仕様に合わせて工業用パターンを制作する技術を身に付ける</p> <p>第4回 生地の裁断(課題名/スカートの裁断) 生地の特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける</p> <p>第5～7回 スカート制作(課題名/スカート) スカート制作を通して、ダーツ縫い、ギャザー、ファスナー付け、ベルト付け、仕様書作成等の技術を身に付ける</p> <p>第8回 生地の裁断(課題名/パンツの裁断) 生地の特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける</p> <p>第9～12回 パンツ制作(課題名/パンツ) パンツ制作を通して、ポケット付け、タック、ファスナー付け、ベルト付け仕様書作成等の技術を身に付ける</p> <p>第13回 生地の裁断(課題名/長袖シャツの裁断) 生地の特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける</p> <p>第14～16回 長袖シャツ制作(課題名/長袖シャツ) 長袖シャツ制作を通して、身頃の組立、台衿付きシャツカラー、短冊あきカフス付け、仕様書作成等の技術を身に付ける</p> <p>第17回 生地の裁断(課題名/ジャケットの裁断) 生地の特性に合わせた地直しと、型入れ、裁断の技術を身に付ける</p> <p>第18～20回 ジャケット制作(課題名/ジャケット) ジャケット制作を通して、テーラードカラーの仕立て、二枚袖の仕立て、まとめ作業、仕様書作成等の技術を身に付ける</p>
教科書	<p>担当教員において配布資料作成</p>
成績評価方法	<p>各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する</p>
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD32		
授業科目名	マーチャンダイジング論		
授業時間数	24		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、マーチャンダイジング理論を解説する。業界全体の流れを把握し、アパレル企業、及び、小売企業におけるマーチャンダイジングの特性と業務フローを理解し、企画、品揃え、販売計画立案の手法を学ぶ。生活者のライフスタイルにおける洞察力を高め、察知した商品を具現化し、売れるように仕組む演出力、技術を修得する。
到達目標	シーズン毎のマーチャンダイジングフローを修得し、ターゲットに沿った適切な商品計画、販売計画を組み立てる考え方を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 マーチャンダイジングとは コンセプトとターゲット ファッション業界全体の流れを把握し、アパレル企業、小売企業のマーチャンダイジング特性を理解する</p> <p>第2回 アパレルマーチャンダイジングの特性と業務フロー アパレルメーカー、SPAのMD特性と業務フローについて理解する</p> <p>第3回 リテールマーチャンダイジングの特性と業務フロー 小売企業のMDの特性と業務フローについて理解する</p> <p>第4回 バイイングについて 商品計画における、SPA企業の海外バイイング、小売企業のバイイングについて理解する</p> <p>第5回 VMDについて 商品計画と商品演出が連動している技術について理解する</p> <p>第6回 アパレル企業と小売店舗のスタイリング計画 アパレル企業のスタイリング計画と展示会、小売企業のスタイリング計画について理解する</p> <p>第7回 市場調査 ファッション情報 市場調査の重要性と手法、ファッション関連の情報について理解する</p> <p>第8回 ファッション企業のプロモーションについて プレストアとインストアの両観点から理解する</p> <p>第9～11回 シーズンMD演習 マーチャンダイジングの一連の業務について、シーズンMD立案の演習を通し修得する</p> <p>第12回 マンスリー販売計画について 月別の販売計画について、事例を基に理解する</p>
教科書	ファッションビジネスⅡ（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	定期試験（80％）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20％）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD12		
授業科目名	総合デザイン論		
授業時間数	24		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	多岐に渡るデザイン分野の各専門知識や技術を、各専門分野の講師陣からオムニバス形式により具体的実例を専門家の考え方や手法を理解する。
到達目標	建築、インテリア、芸術、グラフィック、ファッション、インターネット、ディレクションなど各デザイン分野の専門知識を広く理解し、視野の広い発想力を養う。
授業計画	第1回 栄養学について①自分の体をデザインしよう！ 第2回 広告写真について 第3回 コミュニティデザインについて 第4回 アートについて 第5回 フォトコラージュについて 第6回 スタイリングについて 第7回 建築デザインについて 第8回 アートディレクションについて 第9回 彫刻について 第10回 ファッションデザインについて 第11回 第1回～10回までのレポート作成 第12回 デザイン思考／アイデア出し、グループディスカッション 第13回 デザイン思考／プレゼンテーション 第14回 建築からプロダクトグラフィック多種に渡るデザインについて 第15回 雑貨デザインについて 第16回 商空間店舗デザインについて 第17回 インテリアコーディネートについて 第18回 Webデザインについて 第19回 キャラクターデザインについて 第20回 ファッションビジネスについて 第21回 広告コピーについて 第22回 栄養学について②食事とデザイン 第23回 ファッションコーディネートについて 第24回 第12回～23回までのレポート作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	受講レポート(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD13		
授業科目名	素材学		
授業時間数	30		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	ファッションの材料となる素材の基本的性質を知ると共に、多くの生地に触れてその感覚や使い方を身につける。その特性とそれを活かす方法を理解することで実践的に役立て、また、取り扱いを理解することで、より専門的知識を持ったデザイナーやアドバイザーを目指す。市場で使われている生地の名前や、そのアイテムとの関連なども学修する。
到達目標	材料として使用する素材に触れ繊維の基本的性質を知ること、素材の特性を理解する。生地の名前やその特性を理解し、デザインへ活かす力を身に付ける。素材の取り扱い方法を理解し、商品の説明に取り入れることができる。
授業計画	第1回 ファッションの中での素材の役割 第2回 繊維の種類とその特性 1 綿、麻 第3回 繊維の種類とその特性 2 絹 第4回 繊維の種類とその特性 3 羊毛 第5回 天然繊維の特性と各繊維の比較 第6回 繊維の種類とその特性 4 再生繊維 第7回 繊維の種類とその特性 5 半合成繊維 第8～9回 繊維の種類とその特性 6 合成繊維 第10回 繊維の種類とその特性 7 その他の繊維 第11回 糸の種類と特性 第12回 織りの種類と特性 第13回 編みの種類と特性 第14～16回 代表的な生地の名称と特性 第17回 レースの種類と特性 第18回 染色の種類と特性 第19～20回 加工の種類と特性 第21～22回 取扱い絵表示 第23～24回 柄の種類 第25～26回 皮革・毛皮の種類と特性 第27～28回 獣毛の種類と特性 第29～30回 デザインと素材の関係
教科書	テキスタイルハンドブック
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD14		
授業科目名	服飾史		
授業時間数	30		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	西洋服飾の歴史を学ぶ。歴史上でどのような文化のもと、どのように美意識が変化していくのか、またそれにより人々のファッションに対する考えやそのデザインがどのように影響を受けていくのかを学修する。過去の時代背景とファッションの関連を学ぶことにより、今後の流行を予測する力を身につける。
到達目標	西洋服飾の歴史を学び、その時代背景とファッションの関わりを理解する。過去のファッションの移り変わり、時代との関わりを学ぶことで、今後のファッション予測の考え方を身に付ける。
授業計画	<p>第1回 服飾史とは</p> <p>第2回 衣服の基本形について</p> <p>第3回 古代メソポタミア・エジプトの時代背景と服飾について</p> <p>第4回 古代ギリシャの時代背景と服飾について</p> <p>第5回 古代ローマの時代背景と服飾について</p> <p>第6回 中世ロマネスクスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第7回 中世ゴシックスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第8～9回 近世ルネサンススタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第10～11回 近世バロックスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第12回 中世から近世への移り変わりとその特性</p> <p>第13～15回 近世ロココスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第16～17回 近代の服飾1 フランス革命からロマン主義の時代背景と服飾について</p> <p>第18～19回 近代の服飾2 クリノリンスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第20回 近代の服飾3 バッスルスタイルの時代背景と服飾について</p> <p>第21～22回 アールヌーボーとアールデコについて</p> <p>第23回 現代 1920年代ファッションの時代背景と服飾について</p> <p>第24～25回 現代 1930～40年代ファッションの時代背景と服飾について</p> <p>第26～27回 現代 1950～70年代ファッションの時代背景と服飾について</p> <p>第28～30回 現代 1980年代以降 20世紀の時代背景と服飾について</p>
教科書	西洋服装史
成績評価方法	定期試験の成績(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD17		
授業科目名	ベーシックデザイン		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
<small>実務経験のある教員による授業科目</small>	該当しない		

シラバス

授業内容	色彩検定に向けての学習と共に、色彩の基礎的な知識をアクリル絵の具による実技課題を通して、修得していく。色彩検定の基礎的な知識と職能的な知識を生かして、平面構成の図案の構成力、配色計画、アナログ技法の技術表現力を修得する。
到達目標	色の基礎知識を習得するための色彩検定取得と、その知識を生かしテーマに沿った色彩計画、平面構成力、画材による表現技法を修得する。
授業計画	第1回 色の分類と三属性 第2回 混色 第3回 光と色 第4回 視覚構造 第5回 照明・混色 第6回 PCCS 第7-8回 心理効果・視覚効果・知覚効果 第9-10回 色彩調和 第11回 地と図 第12-13回 色彩効果 第14回 色名 第15-19回 色彩検定対策 第20-24回 平面構成
教科書	文部科学省後援 ひとりで学べる色彩検定2・3級試験テキスト&問題集 第2版 (ナツメ社)
成績評価方法	各課題における作品評価点 (50%)、色彩検定合否 (10%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点 (40%) により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD18		
授業科目名	プランニング基礎		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、プランニングの基礎となるターゲット企画や情報分析等を指導する。クラスター分析を行いイメージマップの作成とライフスタイルをはじめとする周辺情報を収集・分析する力を身につける。市場調査の方法を身に付け、トレンド情報やブランド情報を収集・分析する能力を身に付ける。		
到達目標	クラスター分析を行いターゲットとそのライフスタイル分析ができる力を身に付ける。市場調査を行いマーケットリサーチと情報収集分析能力を身に付ける。トレンド情報やブランド情報を収集分析する能力を身に付ける。		
授業計画	第1回	自己ファッション分析・クラスター分析について	
	第2回	クラスター分析1（課題名/ヘルシーandポップカジュアル）	
	第3回	クラスター分析2（課題名/ラブリーカジュアル）	
	第4回	クラスター分析3（課題名/キュート）	
	第5回	クラスター分析4（課題名/ヤングエレガンス）	
	第6回	クラスター分析5（課題名/カジュアル）	
	第7回	クラスター分析6（課題名/クリエイティブ）	
	第8回	クラスター分析7（課題名/ナチュラル）	
	第9回	クラスター分析8（課題名/ストリートカジュアル）	
	第10回	テスト分析1（課題名/エスニック・フレンチ）	
	第11～12回	テスト分析2（課題名/ヨーロッパ・アメカジ・ジャポニズム）	
	第13回	マーケティングリサーチとトレンド情報について	
	第14回	マーケットリサーチ1（百貨店）	
	第15回	マーケットリサーチ2（ファッションビル）	
	第16回	マーケットリサーチ3（サクラマチクマモト）	
	第17回	トレンド分析1（社会背景とトレンドの仕組み）	
	第18回	トレンド分析2（2020 S/S プレタプルコレクション分析）	
	第19回	ブランド分析1（オンリーショップリサーチから分析）	
	第20回	ブランド分析2（リサーチした結果をビジュアル化する）	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD19		
授業科目名	スタイリングコーディネート		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>アパレルメーカー勤務実績とパーソナルデザイナーの実務経験を持つ教員が、ファッションアイテムに関する基礎知識とスタイリングコーディネートの方法を指導する。 アイテム名、ディテール、シルエット、ラインなど、商品に関する基礎知識を身につけ、スタイリングコーディネートでの応用力を身につける。</p>
到達目標	<p>アパレル商品の基礎知識(アイテム名、シルエット、ライン、ディテール等)を身に付ける。目的に合わせたスタイリングコーディネート提案ができる能力を身に付ける。</p>
授業計画	<p>第1回 自己スタイリング分析～提案 第2回 シルエットについて(課題名/シルエット分類プリント) 第4回 スカートの種類と特徴(課題名/スカート分類プリント) 第5回 パンツの種類と特徴(課題名/パンツ分類プリント) 第6回 シャツ・ブラウスの種類と特徴(課題名/シャツ・ブラウス分類プリント) 第7回 ワンピースの種類と特徴(課題名/ワンピース分類プリント) 第8回 ニット・カットソーの種類と特徴(課題名/ニット・カットソー分類プリント) 第9回 袖の種類と特徴(課題名/袖分類プリント) 第10回 衿の種類と特徴(課題名/衿分類プリント) 第11～12回 デティールの種類と特徴(課題名/ディテール分類プリント) 第13回 素材によるスタイリング(課題名/素材分類プリント) 第14～15回 カラーによるスタイリング(課題名/カラーコーディネート) 第16回 パーソナルカラー基礎 第17～18回 ファッションテイストによるスタイリング 第19～20回 他者スタイリング</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD20		
授業科目名	デザイン画 I		
授業時間数	72		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	フランスのアパレル企業のデザイナーアシスタントとしての実務経験があり 自ブランドの企画、服飾デザイン、テキスタイルデザインを行う教員が 人体のバランスの取り方から、イメージしたデザインを表現するための技術までを基礎から指導する。
到達目標	人体のバランスの取り方を理解し、着装、シルエットの表現、着彩方法を身に付ける。雰囲気や素材感を表現する技術を身に付ける。
授業計画	第1～2回 人体の描き方 (課題名 クロッキー) 第3回 人体バランスの描き方1 (課題名 ドローイング) 第4回 人体バランスの描き方2 (課題名 写真からのドローイング) 第5回 衣服の描き方1 (課題名 着装画) 第6～7回 衣服の描き方2 (課題名 平面図) 第8～9回 コピックの使い方 (課題名 デザイン画) 第10～12回 オリジナルデザイン表現1 (課題名 オリジナルデザイン画) 第13回 人体の描き方応用 (課題名 クロッキー) 第14～15回 素材表現 (課題名 素材表現画) 第16～17回 アクリル絵の具の使い方 (課題名 デザイン画) 第18回 模写1 (課題名ファッション画からの模写) 第19～20回 模写2 (課題名 写真からの模写) 第21～22回 ドローイングと平面図 (課題名 ドローイングと平面図) 第23～24回 オリジナルデザイン表現2 (課題名 オリジナルデザイン画)
教科書	ファッションデザインテクニク デザイン画の描き方
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD21		
授業科目名	パターンメイキング		
授業時間数	100		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、採寸から基本アイテムの製図まで、パターンメイキングの基礎を指導する。体と服とゆとりの関係を理解し、演習を通して平面から立体を作り出す構成感覚を身につけ、工業用パターンの作成までを行う。</p>
到達目標	<p>体と服のゆとりの関係を理解し、平面から立体を作り出す構成能力を身に付ける。デザインに合わせた作図の応用技術を身に付ける。被服構成の理解を深めそれに合わせた縫製仕様書や工業用パターンを制作する技術を身に付ける。</p>
授業計画	<p>第1回 服飾造形の基礎・採寸 第2回 タイтスカート作図(課題名 タイтスカートパターン) 第3回 応用スカート作図(課題名 応用スカートパターン) 第4～6回 パンツ作図、トワルチェック、工業用パターン(課題名 パンツパターン) 第7～8回 身頃原型トワル組み・修正(課題名 身頃原型) 第9回 ダーツ展開、応用 第10～12回 台衿付シャツカラーシャツ作図、トワルチェック、工業用パターン(課題名 シャツパターン) 第13～14回 テーラードカラージャケット身頃作図・トワル組み(課題名 ジャケット身頃パターン) 第15回 ジャケット2枚袖作図・トワル組み(課題名 ジャケット二枚袖パターン) 第16回 ジャケットトワルチェック 第17回 ジャケットトレース・工業用パターン(課題名 ジャケット工業用パターン) 第18回 ジャケットの衿・見返し等の展開(課題名 衿見返しの展開パターン) 第19回 衿の応用作図(課題名 衿パターン) 第20回 袖の応用作図(課題名 袖パターン)</p>
教科書	<p>担当教員において配布資料作成</p>
成績評価方法	<p>各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する</p>
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD23		
授業科目名	グラフィックデザイン I		
授業時間数	70		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	デザイン制作会社での勤務実績のある教員が、SNSをはじめとするweb媒体での販促用画像やフライヤー・ポスター等の制作に必要なphotoshop、illustratorの修得について指導する。
到達目標	スマートフォンアプリ等での加工ではなくPCを使って制作するメリットやphotoshop等のデザインソフトを使う必要性を理解し、実際に制作できる技能の修得を目指す。
授業計画	第1回 ファッション分野でのグラフィックデザイン 第2-4回 [illustrator] 基本操作、図形を描く・変形・線と塗り 第5-6回 [illustrator] ペンツール 第9-12回 [illustrator] フライヤーを意識したレイアウト制作 第13回 PC、スマートフォン、印刷の解像度 第14-20回 [photoshop] SNSを想定した写真のブラッシュアップ 第21-24回 名刺カードの作成 第25-30回 ポスター広告を想定したレイアウト・文字組み
教科書	教科書なし 自作資料・解説を必要時に配布
成績評価方法	各課題における作品評価点(70%)、及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD24		
授業科目名	販売概論		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション販売の概要とショップスタッフの対応力、快適な売場運営について指導する。 今、実店舗に求められるショップスタッフの役割を理解し、お客様の購買行動と心理プロセスに沿った対応力を修得する。
到達目標	ファッション店舗における一連の業務の流れを学び、販売員としての基礎知識、実務を修得する。 消費者の購買心理を理解し、状況に応じた適切な対応力を修得する。 消費者の価値観、購買動向の現状を知り、商品のライフサイクルに合わせた適切な売場運営を考えられる力を身に付ける。
授業計画	第1回 ファッション販売とは 第2回 販売員として求められる要素 第3回 マナーと第一印象 敬語（誤った敬語） 第4回 お客様とは 求める満足価値 第5回 消費者行動とファッション表現 第6回 ファッションにおけるマズロー欲求5段階説の理解 第7回 ライフスタイルとファッション 第8～9回 シーズンサイクルについて（シーズンカレンダー作成） 第10～11回 販売とコミュニケーション（傾聴力・表現力向上） 第12回 接客の流れ（アプローチ～クロージング） 第13回 お客様の購買行動 第14～15回 購買心理のプロセスについて 第16～17回 売場商品構成について（売場と商品分類、演出と陳列） 第18～20回 ショップにおける計数管理について 第21～22回 商品知識、サイズ知識 第23～24回 ロールプレイング（商品提示・提案力）
教科書	担当教員による配布資料作成 ファッションビジネス I（日本ファッション教育振興協会） ファッション辞典（文化出版局）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD25		
授業科目名	修了制作		
授業時間数	217		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	1年次	開講時期	中期・後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル業界において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャー、パタンナー、既製服縫製の実務経験を持つ教員が、オリジナルデザインの提案を指導する。1年間の集大成としてマーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、ソーイング、企画書作成、プレゼンテーションまでを一貫して行う。
到達目標	時代を読み取りコンセプトに反映させる力を身に付ける。コンセプトに沿ったデザインの提案力を身に付ける。デザイン画を表現できるパターンとソーイングの技術を身に付ける。企画の意図を伝える企画書作成の力とプレゼンテーション能力を身に付ける。
授業計画	第1～2回 マーケティングリサーチ 第3～4回 コンセプトワーク 第5～7回 オリジナルデザイン 第8～12回 パターンメイキング 第13～15回 ファブリケーション 第16～32回 ソーイング 第33～34回 コーディネート・演出 第35～36回 プレゼンテーション準備 第37回 プレゼンテーション
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(60%)及びプレゼンテーションの内容評価(20%)、授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD26		
授業科目名	アパレルパターンメイキング I		
授業時間数	18		
必修・選択の別	選択		
対象コース	アパレルデザイン		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、パターンメイキング技術の応用として、2年次で制作する総裏仕立てのジャケット又はコートの作図を指導する。演習を通して素材やデザインに合わせた作図の応用技術を身に付ける		
到達目標	テーラードカラーの構成をより深く理解する。デザインや素材に合わせたパターン展開技術を身に付ける。総裏仕立ての構成を理解し仕立てに合わせた工業用パターンの制作技術を身に付ける。		
授業計画	第1回	総裏テーラードカラージャケット作図(課題名 ジャケット身頃パターン)	
	第2回	総裏テーラードカラージャケットトワル組み(課題名 ジャケット身頃トワル)	
	第3回	2枚袖作図とトワル組み(課題名 2枚袖、ジャケットトワル)	
	第4回	衿、見返し展開とトレース	
	第5回	裏地パターン(課題名 ジャケット裏地パターン)	
	第6回	ジャケット工業用パターン(課題名 ジャケット工業用パターン)	
	教科書	担当教員において配布資料作成	
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD27		
授業科目名	コスチュームパターンメイキング I		
授業時間数	18		
必修・選択の別	選択		
対象コース	コスチュームデザイン		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、パターンメイキング技術の応用として、2年次で制作するワンピースドレスの作図を指導する。演習を通して素材やデザインに合わせた作図の応用技術を身に付ける
到達目標	ワンピースドレスの構成をより深く理解する。デザインや素材に合わせたパターン展開技術を身に付ける。総裏仕立ての構成を理解し仕立てに合わせた工業用パターンの制作技術を身に付ける。
授業計画	第1～2回 ワンピースドレス作図(課題名 ワンピースドレスパターン)
	第3回 ワンピースドレストワル組み(課題名 ワンピースドレス身頃トワル)
	第4回 袖作図とトワル組み(課題名 袖作図、ワンピーストワル)
	第5回 裏地パターン(課題名 ワンピースドレス裏地パターン)
	第6回 ワンピースドレス工業用パターン(課題名 ワンピースドレス工業用パターン)
	教科書
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD28		
授業科目名	セールステクニック I		
授業時間数	18		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションスタイリスト		
開講年次	1年次	開講時期	後期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション販売における一連の流れに沿って、セールスポイントを指導する。多様化するマーケットや購買チャネルの中で、実店舗ならではの強みを明確にし、ECでは味わえない感動をお客様に提供する為に必要とされる、コンサルティングセールスのベースを学修する。
到達目標	商品の見せ方から取り扱い、販売員の基本動作、お客様との会話の中でニーズの深掘りが出来るテクニックを、ロールプレイングを通し修得する。
授業計画	<p>第1回 多様化する購買チャネルの現状 実店舗に顧客を動員するために</p> <p>第2回 商品知識とセールストーク</p> <p>第3回 ロールプレイング①（ファーストアプローチとセカンドアプローチ）</p> <p>第4回 ロールプレイング②（お客様情報と観察力、発信キーワードとキャッチ力）</p> <p>第5回 ロールプレイング③（お客様ニーズの把握、商品提示と効果的な説明）</p> <p>第6回 ロールプレイング④（クロージング）</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	テーマに沿った演習評価（70%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（30%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD31		
授業科目名	業界研究		
授業時間数	12		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

シラバス

授業内容	将来の職業への関心を更に深め、働く事の意義や構造について学ぶと同時に、社会におけるコミュニケーションのあり方を修得し、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動が取れるようになる事を目的とする。
到達目標	自分の将来像を具体的にイメージできるようになる為に、職業観、将来設計能力を養い、人間力、社会人基礎力を身に付ける。
授業計画	第1回 働く意味について考える 第2回 筆記試験対策 第3回 面接対策 第4回 グループディスカッション対策（概要と選考方法） 第5回 グループディスカッション対策（実践と評価） 第6回 キャリアデザイン 第7回 ライフプランの作成 第8回 社会人に必要な基礎知識①（労働・賃金） 第9回 社会人に必要な基礎知識②（社会保険制度） 第10回 社会人に必要な基礎知識③（関係法令） 第11回 人間関係とコミュニケーション 第12回 キャリアデザインの評価
教科書	担当教員において配布資料作成 働く若者のハンドブック（熊本県雇用環境整備協会）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD33		
授業科目名	F B 概論 II		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッションビジネスの総合的、かつ高度な理解を目的とした実務的な応用理論を解説する。国内のみならず、世界のファッションビジネスの変遷と現状、産業構造やビジネスシステムについて理解を深める。
到達目標	ファッションビジネスにおける実務的な専門知識を修得し、組織の一員として機能できる人材となるためのビジネススキルを身に付ける。
授業計画	<p>第1回 ファッションビジネスの特性と役割</p> <p>第2回 繊維産業の歴史</p> <p>第3回 日本のファッションビジネスの変遷 F B をめぐる環境変化</p> <p>第4回 近年のファッションビジネス動向 グローバル化の態様</p> <p>第5回 ファッション消費行動を形成する要素 ファッション消費の変遷</p> <p>第6回 グローバルな視点で捉えた世界のアパレル産業</p> <p>第7回 グローバルな視点で捉えた小売業と S C 服飾雑貨、関連産業</p> <p>第8回 服飾雑貨産業と関連産業と機関</p> <p>第9回 アパレル企業のマーケティング戦略</p> <p>第10回 小売企業のマーケティング戦略</p> <p>第11回 価格と原価 アパレル生産管理・品質管理</p> <p>第12回 Q R と S C M アパレル物流</p> <p>第13回 アパレル、小売、S C の取引特性 営業とチャネル管理</p> <p>第14回 店舗運営管理（単独店/多店舗）</p> <p>第15回 職種、自己啓発、管理</p> <p>第16回 マネジメント基礎知識</p> <p>第17～18回 計数管理</p> <p>第19回 デジタルマーケティング</p> <p>第20回 注目される業界キーワード</p>
教科書	ファッションビジネスⅡ（日本ファッション教育振興協会）
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD34		
授業科目名	アパレルプラン		
授業時間数	36		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレルメーカー企画職での勤務実績とセレクトショップ経営実績のあるパーソナルデザイナーの教員が、アパレル業界におけるプランニングの流れを理解し、実践する。業界の動向、流行、市場の流れを読み取る力を養い、それを基にした商品企画やイベント企画などをたてる。最終的には企画書制作とプレゼンテーション、ディスカッションを行う		
到達目標	ロジカルシンキングを通して情報分析、予測、展開ができる力を身に付ける。業界の動向、流行、市場の流れを読み取る力を養い、それを基にした商品企画やイベント企画ができる力を身に付ける。		
授業計画	第1回	ロジカルシンキング	理論
	第2回	ロジカルシンキング	実践
	第3回	ロジカルシンキング	実践・検証
	第4～6回	他者分析～提案MAP	
	第7～9回	桜町開発についてのリサーチと新規店舗企画	
	第10回	新規店舗企画プレゼンテーション	
	第11～12回	スキルアップ 考える・伝える・聴く	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD35		
授業科目名	スタイリングワーク		
授業時間数	60		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	ファッション、スタイリング、ヘア、メイク、ウォーキング、カメラワークのそれぞれの業界での勤務実績のある教員が、スタイリストの仕事に必要な知識と技術を指導する。オムニバス形式でそれぞれのプロから指導を受け、スタイリング作品を写真で記録する。実際にモデル、服、ヘア、メイク、ポージング等を準備しカメラスタジオでの撮影を行い、ファッションイメージの統一と、その表現方法を身に付ける
到達目標	カメラの基本的操作を身に付け写真を通して服をイメージ通りに表現する技術を身に付ける。ヘアアレンジとメイクの知識と技術を身に付けファッションイメージに合ったヘアメイクが提案できる技術を身に付ける。服を美しく見せるウォーキングとポージングを理解しイメージに合わせてモデルへの指示ができる力を身に付ける。
授業計画	第1回 写真基礎1「1眼レフカメラの仕組み」 第2回 写真基礎2「写真の明るさと質感」 第3回 写真基礎3「光源と写真の色」 第4回 写真基礎4「ポートレート/ロケ撮」 第5回 写真基礎5「スタジオ撮影」 第6～7回 ヘアアレンジ演習 第8～9回 メイク演習 第10～11回 ウォーキング、ポージング演習 第12回 写真基礎6 スタイリング作品撮影 第13～16回 テーマ別スタイリング提案 第17～18回 スタイリング デザイン画 第19～20回 パーソナルカラー
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(70%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(30%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD36		
授業科目名	グラフィックデザインⅡ		
授業時間数	90		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	印刷会社の制作部でグラフィックデザインを担当し制作した経験のある教員がその経験を生かして、IllustratorとPhotoshopのアプリケーションソフトを使ってポスター、リーフレット、カタログ制作やWebサイト制作など広報ツール制作について指導する。
到達目標	CGソフトを使ってイメージを表現出来るようにする。ソフトはイラストレーターとフォトショップを使用。写真の取り込みなども取り入れ、オリジナルブランド「GLITTER」の広報物ができるような技術を身につける。
授業計画	第1～2回／オリジナル名刺デザイン 第3回／PS 画像補正 第4回／デジタルカメラ撮影 第5～7回／PRチラシの制作 第8～10回／ショップDM制作 第11～12回／インターネットツールの活用1 第13～14回／ブランドロゴの作成 第15～17回／インターネットツールの活用2 第18回／レポート制作 第19～21回／プレゼンボードの作成演習 第22～24回／販売促進企画 第25～27回／ファッションショーDM、ポスター、チラシ制作 第28回／ホームページ制作 第29回／商品撮影 第30回／カタログ作成
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD38		
授業科目名	卒業制作		
授業時間数	513		
必修・選択の別	必修		
対象コース	共通		
開講年次	2年次	開講時期	通年
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル業界において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャー、パタンナー、既製服縫製の実務経験を持つ教員が、オリジナルブランド「GLITTER」のプロデュースを指導する。クラス全員によるグループワークにより、マーケティングリサーチからコンセプトワーク、デザイン、パターン、ソーイング、コーディネート、ショー運営、ショップ運営までを一貫して行う。
到達目標	グループワークにより他者の様々な意見を聞き討論を行うためのコミュニケーション能力を身に付ける。時代を読み取りコンセプトに反映させる力を身に付ける。コンセプトに沿ったブランドのプロデュース方法と、デザインの提案力を身に付ける。デザイン画を表現できるパターンとソーイングの技術を身に付ける。イメージに合ったショー演出とショー運営ができるようになる。店舗運営の為の計数管理や販売接客技術、ディスプレイや広報活動等の技術を身に付ける。
授業計画	第1回 オリジナルブランド「GLITTER」 第2～5回 マーケティングリサーチ 第6～9回 コンセプトワーク 第10～14回 シーンコンセプトとデザイン提案 第15～16回 デザイン決定とファブリケーション、パターン計画 第17～38回 パターンメイキング 第39～70回 ソーイング 第71～88回 コーディネート、ショー演出 第89～95回 ショー運営 第96～97回 ファッションショー 第98～101回 ショップオープン準備 第102～106回 ショップ運営
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(50%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(50%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD39		
授業科目名	デザイン画Ⅱ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	アパレルデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	フランスのアパレル企業のデザイナーアシスタントとしての実務経験があり 自ブランドの服飾デザイン、テキスタイルデザイン、企画を行う教員が 一年次に履修したデザイン画の基礎をもとに素材や質感ディティールなどを表現技法と合った画材の選出を含め 自分のイメージ通りに表現する手法を指導する。		
到達目標	水彩を中心に使用し発想したアイデアを正確にファッションデザインに落とし込む技術を身に付ける。コンペへの応募等を通してオリジナリティのあるデザイン表現の方法を身に付ける。		
授業計画	第1回	ドローイング（課題名 ドローイング応用）	
	第2回	コンペ課題に向けたデザイン画1（課題名 コンペ・デザイン案）	
	第3回	コンペ課題に向けたデザイン画2（課題名 コンペ・デザイン画）	
	第4～5回	商品企画（課題名 商品企画）	
	第6回	着彩技法1（課題名 デザイン画）	
	第7回	着彩技法2（課題名 デザイン画）	
	第8回	オリジナルデザイン（課題名 デザイン画）	
	第9～10回	コラージュからの発想（課題名 コラージュデザイン画）	
	第11～12回	秋冬コレクション企画（課題名 秋冬コレクション企画）	
教科書	ファッションデザインテクニック デザイン画の描き方		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD40		
授業科目名	アパレルパターンメイキングⅡ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	アパレルデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、パターンの応用としてアイテム、デザイン、素材に応じたファーストパターンから工業用パターン作成法を指導する。パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ理解を深めていくと共に、リアルクローズに必要なパターン技術を修得していく。		
到達目標	パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ正確かつスピーディーなデザインジャケットの作図技術を身に付ける。リアルクローズで取り入れられているアイテムやシルエット、ディテールに合わせたパターンメイキング技術を身に付ける。		
授業計画	第1～2回	ハイウエスト切替えのワンピース作図	
	第3～4回	デザインジャケットの作図1(課題名 ジャケット1/2パターン)	
	第5～6回	デザインジャケットの作図2(課題名 ジャケット実物パターン・トワル)	
	第7～8回	ディテール作図(課題名 ディテールパターン)	
	第9～10回	モードコピー1(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第11～12回	モードコピー2(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD41		
授業科目名	アパレルソーイング		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	アパレルデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、業界で即応できる生産技術を指導する。総裏テーラードジャケット又はコートの構成を理解し、演習を通して素材特性を活かした縫製技術を身に付ける
到達目標	総裏テーラードジャケット又はコートの制作演習を通して素材特性を活かした技術を習得し、デザインに応じた縫製技術と表現力を身に付けることで被服制作の習熟度を高める。また、縫製仕様書と工程分析を作成することで、縫製指示や生産管理の能力を高める。
授業計画	<p>第1回 応用部分縫い1(課題名/角縫い、逆カーブ縫い)</p> <p>第2～3回 応用部分縫い2(課題名/ポケット部分縫い)</p> <p>第4回 生地 of 裁断(課題名/ジャケットの裁断)</p> <p>第5～6回 総裏ジャケット1(課題名/ジャケットの身頃組立)</p> <p>第7～8回 総裏ジャケット2(課題名/衿作り、衿付け)</p> <p>第9～10回 総裏ジャケット3(課題名/袖作り、袖付け)</p> <p>第11～12回 総裏ジャケット4(課題名/裏作り、裏付け、仕上げ)</p> <p>第13～20回 オリジナルデザイン制作(課題名/GLITTERオリジナル作品)</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD42		
授業科目名	デザイン画Ⅱ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	コスチュームデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	フランスのアパレル企業のデザイナーアシスタントとしての実務経験があり 自ブランドの服飾デザイン、テキスタイルデザイン、企画を行う教員が 一年次に履修したデザイン画の基礎をもとに素材や質感ディテールなどを表現技法と合った画材の選出を含め 自分のイメージ通りに表現する手法を指導する。		
到達目標	水彩を中心に使用し発想したアイデアを正確にファッションデザインに落とし込む技術を身に付ける。コンペへの応募等を通してオリジナリティのあるデザイン表現の方法を身に付ける。		
授業計画	第1回	ドローイング（課題名 ドローイング応用）	
	第2回	コンペ課題に向けたデザイン画1（課題名 コンペ・デザイン案）	
	第3回	コンペ課題に向けたデザイン画2（課題名 コンペ・デザイン画）	
	第4～5回	商品企画（課題名 商品企画）	
	第6回	着彩技法1（課題名 デザイン画）	
	第7回	着彩技法2（課題名 デザイン画）	
	第8回	オリジナルデザイン（課題名 デザイン画）	
	第9～10回	コラージュからの発想（課題名 コラージュデザイン画）	
	第11～12回	秋冬コレクション企画（課題名 秋冬コレクション企画）	
教科書	ファッションデザインテクニック デザイン画の描き方		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD43		
授業科目名	コスチュームパターンメイキングⅡ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	コスチュームデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	<p>アパレルメーカーでパタンナーとして勤務実績のある教員が、パターンの応用としてアイテム、デザイン、素材に応じたファーストパターンから工業用パターン作成法を指導する。パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ理解を深めていくと共に、装飾的なディテールを含むパターン技術を修得していく。</p>		
到達目標	<p>パターンメイキング検定2級の内容を取り入れ正確かつスピーディーなデザインジャケットの作図技術を身に付ける。コスチューム等で取り入れられているアイテムやシルエット、ディテールに合わせたパターンメイキング技術を身に付ける。</p>		
授業計画	第1～2回	ハイウエスト切替えのワンピース作図	
	第3～4回	デザインジャケットの作図1(課題名 ジャケット1/2パターン)	
	第5～6回	デザインジャケットの作図2(課題名 ジャケット実物パターン・トワル)	
	第7～8回	ディテール作図(課題名 ディテールパターン)	
	第9～10回	モードコピー1(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
	第11～12回	モードコピー2(課題名 モードコピーパターン又はトワル)	
教科書	担当教員において配布資料作成		
成績評価方法	各制作課題における作品評価点(80%)及び授業参加への積極性を重視する平常点(20%)により評価する		
備考			

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD44		
授業科目名	コスチュームソーイング		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	コスチュームデザイン		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、業界で即応できる生産技術を指導する。ワンピースドレスの構成を理解し、演習を通して素材特性を活かした縫製や難素材縫製の技術を身に付ける
到達目標	ワンピースドレスの制作演習を通して素材特性を活かした技術を習得し、デザインに応じた縫製技術と表現力を身に付けることで被服制作の習熟度を高める。また、縫製仕様書と工程分析を作成することで、縫製指示や生産管理の能力を高める。
授業計画	<p>第1回 応用部分縫い1 (課題名/角縫い、逆カーブ縫い)</p> <p>第2～3回 応用部分縫い2 (課題名/難素材の縫製)</p> <p>第4回 生地のカット (課題名/ワンピースドレスのカット)</p> <p>第5～10回 ワンピースドレス1 (課題名/ワンピースドレスの身頃組立)</p> <p>第11～12回 ワンピースドレス2 (課題名/ワンピースドレス仕上げ)</p> <p>第13～20回 オリジナルデザイン制作 (課題名/GLITTERオリジナル作品)</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	各制作課題における作品評価点 (80%) 及び授業参加への積極性を重視する平常点 (20%) により評価する
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD45		
授業科目名	セールステクニックⅡ		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションスタイリスト		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、多様化するマーケットや購買チャネルの中で、より高度な専門知識・技術・情報を提供し、商品提案を含め買い手の満足を得られる人材となるべく、実店舗における販売員の役割を解説、実務指導する。ロールプレイングを通し、情報のキャッチ力とコミュニケーションスキルの向上を図る。又、顧客管理の重要性、クレーム対応についての理解を深める。
到達目標	顧客心理に応じた接客方法、アプローチからクロージング迄のプロセスにおいて、状況に応じた接客技法を修得する。 顧客のニーズとビジネスの両面から販売を考えられる力を養う。
授業計画	第1回 役割と責任について考える 第2回 お客様とは お客様にとって店舗とは 第3回 接客のプロセス ～顧客との信頼関係を築く～ 第4回 売上に繋がる接客技法 第5回 ロールプレイング（セールステクニック① アプローチ） 第6回 ロールプレイング（セールステクニック② 商品提示・効果的な説明） 第7回 ロールプレイング（セールステクニック③ 迷いの解決） 第8回 ロールプレイング（セールステクニック④ セット率アップ） 第9回 ロールプレイング（セールステクニック⑤ クロージング） 第10回 フォーマル知識、贈答知識 第11回 顧客作りの重要性と管理術 第12回 クレーム対応と処理
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（70%）、テーマに沿った演習評価（20%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（10%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD46		
授業科目名	ショップマネジメント		
授業時間数	36		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションスタイリスト		
開講年次	2年次	開講時期	前期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション店舗における運営、管理について指導する。 小売形態の特性を理解し、どのような目的で、どのように運営されるのか、又、店舗を効率的に・効果的に運営し、目的を達成する為のマネジメントの考え方を修得する。
到達目標	ファッション店舗における一連の管理・運営業務を理解する。 マネジメントサイクルを理解し、店舗を継続的に運営する循環プロセスを修得する。
授業計画	<p>第1回 ファッションビジネスを取り巻く現状と消費者動向</p> <p>第2回 マネジメントとは</p> <p>第3回 小売店舗の組織、運営特性</p> <p>第4回 マネジメント上の共通点と相違点</p> <p>第5回 品揃え/仕入計画と販売計画</p> <p>第6回 経営、計数管理①（価格設定、価格と消費者心理）</p> <p>第7回 経営、計数管理②（売上）</p> <p>第8回 経営、計数管理③（ショップの経費及び利益計画）</p> <p>第9回 小売業のマーケティングミクス</p> <p>第10～12回 ショッププランニング</p>
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（80%）及び、授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する。
備考	

科目概要

学科名	ファッションデザイン科		
科目コード	2019FD47		
授業科目名	セールスプロモーション		
授業時間数	60		
必修・選択の別	選択		
対象コース	ファッションスタイリスト		
開講年次	2年次	開講時期	前期・中期
授業方法	講義・演習		
実務経験のある教員による授業科目	該当する		

シラバス

授業内容	百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッションビジネスの側面において、重要となる販売促進活動を指導する。 ショッププロモーション活動においてのプレストアプロモーションでは、集客を目的とした活動について、又、インストアプロモーションでは、購買を吸引する販売計画や、商品計画（MD）と商品演出が連動している技術（VMD）を交えながら修得する。
到達目標	ファッション企業におけるプロモーション活動について、基本的な知識を身に付ける。 トータルのプロモーション計画が組める考え方と手法を修得する。
授業計画	第1回 ファッション企業のプロモーション活動とは 第2回 プロモーション分類と特性 第3～4回 ショッププロモーション（プレストアとインストア） 第5回 VMDについて 第6回 売場の役割 第7～8回 売場演出（ディスプレイ・陳列技法） 第9～10回 売上とVMDの関係性と要素 第11～12回 MDサイクル 第13～14回 シーズン販売計画とマンスリー販売計画 第15回 フェア計画について 第16～19回 フェアプランニング演習 第20回 EC急成長の中での実店舗のプロモーションの重要性
教科書	担当教員において配布資料作成
成績評価方法	定期試験（80%）及び授業参加への積極性を重視する平常点（20%）により評価する
備考	